



## 平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月14日

上場取引所 東

上場会社名 ディップ株式会社

コード番号 2379 URL <http://www.dip-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 富田 英揮

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 大谷 栄一

TEL 03-5114-1177

四半期報告書提出予定日 平成22年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年2月期第2四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	4,247	4.5	△174	—	△200	—	△180	—
22年2月期第2四半期	4,064	△32.3	142	△69.5	149	△66.2	61	△68.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	△1,577.07	—
22年2月期第2四半期	537.81	537.48

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	6,309	3,129	49.6	27,403.32
22年2月期	6,700	3,399	50.7	29,782.62

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 3,129百万円 22年2月期 3,399百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	800.00	800.00
23年2月期	—	0.00	—	800.00	800.00
23年2月期 (予想)	—	—	—	800.00	800.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,100	26.7	600	89.6	580	81.0	240	95.1	2,102.14

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.3「2.その他の情報」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年2月期2Q	123,620株	22年2月期	123,590株
② 期末自己株式数	23年2月期2Q	9,431株	22年2月期	9,431株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年2月期2Q	114,179株	22年2月期2Q	114,159株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(第2四半期累計期間) .....	5
(第2四半期会計期間) .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済情勢は、輸出の増加や生産の持ち直しを背景に企業収益や個人消費に改善の兆しが見られたものの、米欧を中心とした海外景気の減速、デフレや円高基調の継続等、先行き不透明な状況が続いております。

国内の雇用情勢につきましては、完全失業率が依然として高い水準で推移するとともに、有効求人倍率も大きな改善が見られず、厳しい状況が続きました。

このような環境のなか、当社は市場の回復に先んじてシェア拡大を目指し、主力事業のバイトルドットコムにおいて、サイト開設以来の最大規模のリニューアルを実施し、ネット専業としてきた強みを活かし、紙媒体にはできない「WEBならではの」新機能の導入を積極的に進めてまいりました。新機能では、情報鮮度の高さを追求した週刊企画の導入、リアルタイムに応募状況がわかる「応募バロメーター」の表示、さらに、求人情報に動画を掲載する新サービスを導入し、今までの求人サイトにはない、業界初となる新しい価値を提供してまいりました。

加えてこれらの新サービス導入にあわせ、機能訴求型のTVCFを放映する等、積極的なプロモーションを実施し、ユーザーの認知度向上および利用促進に努めてまいりました。

この結果、経営資源を集中したアルバイト・パート領域におきましては、前期より進めてきました代理店による販売チャネルの拡充及び未進出エリアでの提携事業も順調に推移し、前年同四半期を大幅に上回る結果となりました。

中途採用領域におきましては、平成21年9月にサービスを開始したナースではたらこ事業の順調な成長により、ジョブエンジン事業の減収を吸収し、ほぼ前年並みの実績で推移いたしました。

しかしながら、エージェント(派遣・請負)領域におきまして、派遣法改正による規制強化を見込んだ企業の派遣需要の減少に伴うスタッフ募集ニーズの低迷が継続したことにより、前年同四半期を大きく下回る厳しい状況で推移いたしました。

これにより、当第2四半期累計期間の売上高は42億47百万円(前年同四半期比4.5%増)となりました。営業損益につきましては、戦略投資として、新機能へのシステム投資及びTVCF等の積極的な広告宣伝投資を実施してまいりましたが、一部の費用が第3四半期以降へずれることとなった結果、営業損失は1億74百万円(前年同四半期は営業利益1億42百万円)、経常損失は2億円(前年同四半期は経常利益1億49百万円)、四半期純損失は1億80百万円(前年同四半期は四半期純利益61百万円)となりました。

事業部門別の状況は以下のとおりであります。

	第13期 第2四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)		第14期 第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
はたらこねっと	912,091	22.5	579,029	13.6
バイトルドットコム	2,675,460	65.8	3,205,398	75.5
ジョブエンジン	476,343	11.7	240,582	5.7
ナースではたらこ	—	—	213,244	5.0
その他	600	0.0	9,479	0.2
計	4,064,494	100.0	4,247,733	100.0

(注) 前事業年度において「その他」に区分しておりました看護師専門の転職情報サービス「ナースではたらこ」につきましては、当期より重要性が増したため、事業区分を「その他」から「ナースではたらこ」に変更しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末と比較し3億90百万円減少し、63億9百万円となりました。資産減少の主な要因は、現金及び預金4億59百万円の減少等によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末と比較し1億19百万円減少し、31億80百万円となりました。主な要因は、長期借入金1億99百万円の減少及び1年以内返済予定の長期借入金41百万円の増加等によるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末と比較し、2億70百万円減少の31億29百万円となりました。主な要因は、利益剰余金2億71百万円の減少等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末と比較し4億59百万円減少し、22億33百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は61百万円（前年同四半期は2億43百万円の使用）となりました。これは主に税引前四半期純損失2億65百万円を計上したものの、減価償却費等の非資金項目2億50百万円及び原状回復費32百万円がこれを上回ったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は2億73百万円（前年同四半期比80百万円増加）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出2億65百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は2億47百万円（前年同四半期比99百万円減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出2億57百万円及び配当金の支払額90百万円が長期借入れによる収入1億円を上回ったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成22年4月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

一部の項目について簡便な会計処理を適用しておりますが、重要なものはありません。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,233,209	2,692,686
売掛金	1,450,086	1,426,365
仕掛品	5,597	14,175
その他	568,756	483,176
貸倒引当金	△64,641	△58,682
流動資産合計	4,193,009	4,557,722
固定資産		
有形固定資産	372,198	418,316
無形固定資産		
ソフトウェア	966,257	828,387
その他	199,571	246,141
無形固定資産合計	1,165,828	1,074,528
投資その他の資産		
その他	634,296	707,877
貸倒引当金	△55,800	△58,231
投資その他の資産合計	578,495	649,646
固定資産合計	2,116,523	2,142,491
資産合計	6,309,532	6,700,214
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	147,558	140,790
1年内返済予定の長期借入金	548,800	507,100
前受収益	564,768	659,931
その他	672,590	531,438
流動負債合計	1,933,718	1,839,261
固定負債		
長期借入金	1,244,900	1,444,300
その他	1,756	16,699
固定負債合計	1,246,656	1,460,999
負債合計	3,180,374	3,300,260
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,081,200	1,080,900
資本剰余金	1,131,709	1,131,409
利益剰余金	1,288,376	1,559,772
自己株式	△372,128	△372,128
株主資本合計	3,129,157	3,399,953
純資産合計	3,129,157	3,399,953
負債純資産合計	6,309,532	6,700,214

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)
売上高	4,064,494	4,247,733
売上原価	390,216	577,987
売上総利益	3,674,278	3,669,746
販売費及び一般管理費	3,531,876	3,844,590
営業利益又は営業損失(△)	142,401	△174,844
営業外収益		
受取利息	586	823
子会社清算益	4,891	—
その他	15,139	7,593
営業外収益合計	20,618	8,416
営業外費用		
支払利息	13,420	10,065
シンジケートローン手数料	—	21,116
その他	82	3,329
営業外費用合計	13,503	34,511
経常利益又は経常損失(△)	149,516	△200,938
特別損失		
固定資産除却損	1,925	31,365
中途解約損害金	—	883
原状回復費	—	32,749
特別損失合計	1,925	64,998
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	147,591	△265,937
法人税、住民税及び事業税	71,369	5,110
法人税等調整額	14,825	△90,979
法人税等合計	86,195	△85,868
四半期純利益又は四半期純損失(△)	61,395	△180,068

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)	当第2四半期会計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)
売上高	1,896,593	2,157,286
売上原価	202,492	315,701
売上総利益	1,694,100	1,841,585
販売費及び一般管理費	1,682,908	2,065,421
営業利益又は営業損失(△)	11,192	△223,835
営業外収益		
受取利息	392	456
その他	10,725	5,154
営業外収益合計	11,117	5,610
営業外費用		
支払利息	6,206	4,879
シンジケートローン手数料	—	8,622
その他	82	1,246
営業外費用合計	6,288	14,749
経常利益又は経常損失(△)	16,022	△232,974
特別損失		
固定資産除却損	1,925	30,857
中途解約損害金	—	883
原状回復費	—	30,849
特別損失合計	1,925	62,590
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	14,096	△295,565
法人税、住民税及び事業税	5,712	2,511
法人税等調整額	17,907	△111,472
法人税等合計	23,620	△108,961
四半期純損失(△)	△9,523	△186,603



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	147,591	△265,937
減価償却費	153,286	179,407
のれん償却額	36,269	36,269
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	12,873	3,528
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△132,236	—
受取利息及び受取配当金	△586	△823
支払利息	13,420	10,065
シンジケートローン手数料	—	21,116
子会社清算益	△4,891	—
固定資産除却損	1,925	31,365
原状回復費	—	32,749
中途解約損害金	—	883
売上債権の増減額 (△は増加)	481,844	△1,069
仕入債務の増減額 (△は減少)	27,806	6,768
前受収益の増減額 (△は減少)	△358,491	△95,163
その他の資産の増減額 (△は増加)	133,982	38,253
その他の負債の増減額 (△は減少)	△376,453	70,755
その他	14,783	15,884
小計	151,122	84,053
利息及び配当金の受取額	586	823
子会社清算配当金の受取額	4,891	—
利息の支払額	△13,257	△9,602
シンジケートローン手数料の支払額	—	△4,487
中途解約損害金の支払額	—	△883
原状回復費の支払額	—	△3,099
法人税等の支払額	△386,869	△5,184
営業活動によるキャッシュ・フロー	△243,526	61,618
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△17,970	△25,121
無形固定資産の取得による支出	△175,098	△265,747
敷金及び保証金の差入による支出	△3,086	—
敷金及び保証金の回収による収入	5,555	17,457
その他	△1,900	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△192,500	△273,410

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△257,700	△257,700
株式の発行による収入	—	600
配当金の支払額	△89,982	△90,585
財務活動によるキャッシュ・フロー	△347,682	△247,685
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△783,709	△459,477
現金及び現金同等物の期首残高	3,355,131	2,692,686
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,571,422	2,233,209

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
  
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。